館報 大豊

昭和61年12月10日発行
全世帯配布
編集　大豊町中央公民館
発行　大豊町中央公民館
印刷　高知印刷株式会社

大豊町の概要

位置	東経133度40分　北緯33度45分（位置は地籍調査班の調査による）
面積	320.54平方粁　東西32粁　南北28粁　部落数86
人口	8,799　男4,153　女4,646
世帯数	3,278（11月末日現在住民基本台帳調）

61年度文化庁移動芸術祭協賛公演

寺内の太刀踊り堂々の出演

中国、四国ブロック民俗芸能大会

中国、四国の各地域に伝承されている民俗芸能のうち、価値の高いものを公開し、一般の理解と認識を深め、その保護と活用の気風を醸成することを目的とした第28回中国・四国ブロック民俗芸能大会が、香川県丸亀市市民会館において、去る十月十八日開催された。

この日、丸亀市民会館には千五百人の観衆が集まり中四国ブロック九県十組百三十二名の出演者による民俗芸能が披露され好評を博した。

高知県からは、県を代表し寺内の太刀踊り（町無形文化財二十名が出演した。

大豊町からこの芸能大会に出場したのは昭和四十九年に松江市で開催された時に岩原永渕神楽が出演して以来のことであり、寺内の太刀踊保存会（会長上村芳晴）では高知県の代表として恥ずかしくない太刀踊りを披露しようと、会員に呼びかけ、数カ月前から、仕事の終わった夜間を利用して大田口地区公民館で練習に励んでいた。

発表当日の十八日早朝には、本番にそなえたリハーサルも順調に進んだが、本格的な舞台、会場の広さに初めのうちは幾分プレッシャーはあったもののすぐに慣れ、本番さながらの練習を行った。

開会式では、主催者から上村保存会長に感謝状が贈られ、午後一時山口県の切山歌舞伎で幕開きとなった。

寺内の太刀踊りの出演は最後から二番目の九番目ということもあり、観客も幾分疲れ気味で雑談もちらほら聞かれ心配されたが、開幕と同時にバックスクリーンのコバルト色に、白衣に黒袴、真っ赤な襷がけの凛々しい若者達の姿が映え、観客は一瞬静かになった。

平野巌男氏の打つ拍子木の音を合図に西本嘉彦氏の音頭が流れ、エイヤー、コラサーの踊り子の掛け声と共に打ち振る太刀さばきも段々と早くなり踊り子も汗びっしょり、真剣で力の入った舞が約二十分続いた。

観客の中には、素晴らしい素晴らしいを連発する者もおり見ていて、ジンとくるものがある太刀踊りの発表であった。

会員の中には後継者として三名の中学生もおり中間試験の合間をさいての練習、出演と本当に御苦労様でした。

同伴した高知県の文化振興課の係官もよかった、よかった、と絶賛しておりました。

どうかこれからも、寺内の太刀踊りの保存、伝承に一層の御精進下さいますよう心からお願い致します。

出演芸能名

①山口県　切山歌舞伎
②広島県　はねおどり
③岡山県　白石踊
④愛媛県　人形浄瑠璃芝居
⑤鳥取県　壁ぬりさんこ節
⑥島根県　シッカク踊
⑦徳島県　祖谷音頭おどり
⑧香川県　綾南の親子獅子舞
⑨高知県　寺内の太刀踊り
⑩香川県　塩飽八幡太鼓

拍子木（平野氏）音頭（西本氏）

熱演寺内太刀踊り保存会の皆さん

第15回ふるさとまつり

（高知市柳原）

元祖大豊田楽や褐牛のバーベキューに黒山の人だかり

十月二十五日から三日間高知市柳原みどりの広場で、県下四十三市町村が参加して、フェスティバル土佐、第十五回ふるさとまつりが開催されました。

この催しは、県下各地の山、海の幸を紹介、即売するとともに消費者と身近に対話し交流を深めようと高知県、市町村をはじめ農協連、漁協連、高知新聞社が主催し毎年行われている催しである。

催しはすっかり定着し、売る人も買う人も待ちかねている年に一度の祭りである。

この日大豊町も農協や生活改善グループ、町産業課の方々が中心となって参加、町の特産物の販売を実施した。渡辺町長もハッピ姿で自らが店頭に立って我が町の特産品の販売に一役。すっかりおなじみになった田楽は他の市町村でも販売するところが増え売れゆきが心配されましたが、何のことはない、近藤課長さんの「元祖、元祖大豊の田楽どうですか!!」の呼び声にお客さんもニッコリ、どりゃ、こりゃうまい、という具合で売れゆきは上々。今年は田楽の隣りで土佐の褐牛のバーベキューもおいしい匂いを漂わせ黒山の人だかり。焼手も汗だく顔を真っ赤にしながら笑顔のサービス。「ここのは肉の切れも太いし、しょう安い」と、ほめながら口一杯にほおばっている熟年男性もいた。

裏の方では、婦人会の方々が、田芋、馬鈴薯、豆腐を串にさしながら、これはせわしい休む間もない。帰ったら田楽の夢を見るのではと冗談をいいながら芋串に味噌を塗る手も慣れたもの。

「立川御殿そば」も飛ぶように売れていたが食堂が狭くてちょっぴり残念。

お客のすき間を利用して各町村の状態を偵察に一巡、各町村とも思い思いの趣向をこらし我が町の特産品をとお客に呼びかけているが、山間部は山間部で、海岸部は海岸部で、出品している品が似かよっており（一部の市町村を除き）これといった特徴がなく、お客は狭い通路を押し流される中で安くて良い品の堀り出し物をさがす状態も見受けられ、日曜市的祭りになった感もした。

ともあれ、三日間この祭りに参加された皆様の御労苦に対し心から敬意を表します。

飛ぶように売れるバーベキュー

自ら店頭に立つ渡辺町長

この味いいわねぇ……

大豊町社会教育委員大豊町中央公民館運営審議会委員を改選

委員長に石原正恒氏

任期・昭和六十二年八月一日から二ケ年

大豊町教育委員会は去る七月二十二日定例教育委員会を開催し次の十名の方々を、大豊町社会教育委員並びに大豊町中央公民館運営審議会委員に八月一日付をもって選任委嘱した。

大豊町社会教育委員会並びに中央公民館運営審議会では八月一日に組織、委員会を開催し、委員長に石原正恒氏（中村大王）を選任し副委員長には高橋俊郎氏を選任した。

その後、永森信良氏は九月二十五日付をもって大豊町教育委員就任（大豊町教育長）のため10月30日付で辞任。

大豊町社会教育委員並びに大豊町中央公民館運営審議会委員名簿

（昭和六十一年十月三十日現在）

職名	氏名	選出区分	備考
会長	石原正恒	文推協	六十一・八・一就任
副会長	永森信良	公民館	六十一・八・一就任
委員	徳弘秀綱	校長会	六十一・十・三〇辞任
〃	今井安博	議会	六十一・八・一就任
〃	高橋俊郎	公民館	〃
〃	上村芳子	婦人会	〃
〃	森一芳	青年団	〃
〃	上村虎明	町老連	〃
〃	富永勝	町P連	〃
〃	小林康夫	子供会	〃

ご挨拶

教育長退任にあたって

重森　元亀

この度教育長を退任するにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

思いますと三十八年六ケ月に亘り役場でお世話になりました。全く感慨無量です。

私は人生として全部を、ここで過ごしたといえるかも知れません。この間民生課長、西豊永支所長、住民課長、議会事務局長、行政課長、そして教育長二期に亘り皆様のご協力によりまして大過なく去ってゆくことができますことに対し、改めておれを申し上げたいと存じます。

特に上司、同僚職員の温かいご指導のもとで心からのご協力ご支援により無事勤めを全うすることが出来ました。皆様方の御懇情に対し、心からお礼申し上げます。

教育長在職中に手がけた仕事のうちにはいろいろの難問題もあり、また残されたものもありますが幸いご経験豊かな永森信良氏が後任として参られましたし、安心して新しい生活に入ることができます。

どうか今後におきましても永森氏に対し私と同様温かいご支援の程をお願いしてやみません。

それにしても、私は不肖不敏のために皆様のご厚情に応え町民のご期待に沿い得ぬ点が多々あったことはまことに汗顔の至りと恐縮に存じております。

しかしながら、私は私なりに誠心誠意をこめ、微力を傾けて衝に当たり事に処して参ったつもりでありますので、至らぬところは何卒ご宥恕賜わりますよう、本紙を通じて町民の皆様にお願い申し上げます。

なお退任のうえは私も一町民として、町政にいささかなりと寄与いたすべく努める所存でありますので、今後ともによろしくご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

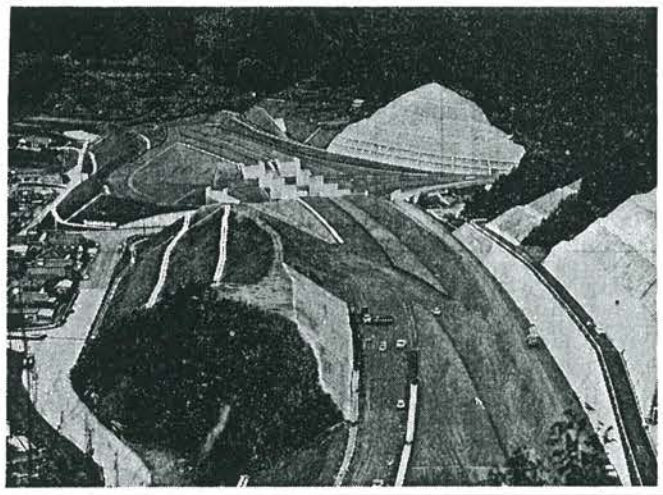
最後に大豊町の秩序と調和ある発展をこいねがい、町政の円滑なる進展のために御自愛、御健闘あらんことを、そして皆様のご健勝をお祈りいたしまして退任のご挨拶といたします。

永い間御苦労様でした
職員の拍手に送られる重森氏

歴史とロマン 21世紀に向けての 大豊町観光開発構想

大豊町企画振興室

(1)



嶺北観光の玄関（大豊インター）

大豊町開発の基盤

地方の時代が近年の潮流になり始めた情勢に即応して、我が町の地域開発は自らの手で切り開いて行くことが最重要なことであり、また、今日的な課題ともなっております。

本町の歴史的な沿革が、各地域毎に旧い良き歴史が刻み込まれた様々な生きざまそのものでありまして、現代人がロマンを求めて探訪可能なものを私共は数多く共有しております。地形的には石鎚・剣山の両山系の中間に位置しており、急傾斜で複雑な山岳地帯では、その耕地は総面積の四・一％であります。この事は半面、棚田や傾斜畑の織りなす素晴らしい景観を創造しておりますし、四国中央山岳地帯独得のものを形成しております。また、四国三郎吉野川が東西に貫流し、これに流れ込む数多くの小河川が、随所に美しい渓流を織りなす景観は、活用次第によっては価値ある観光資源でもあります。

本町の基幹産業は農林業となってはおりますけれども、その内容としては林業との複合でもあり、また他業種との兼業でもあります。その生産性は県内におきましても最低水準を推移していることは非常に残念な事といわざるをえません。オイルショック後の町内純生産高は、九十六億七千五百万円であり一次産業十五億七千五百万円、二次産業二十六億七千五百万円、三次産業五十七億六千七百万円程度を上下しておりまして、住民一人当りの所得は百二十一万八千円と高知県下でも低レベルで低迷しております。

今後の本町を取り巻く情勢が、大きな社会変革をもたらすと言われております高速道時代を迎える事となりますので、その四国横断自動車道の完成に向けての経済浮揚施策の確立が期待される所以でもあります。

本町の農業は水稲・養蚕を中心として、露地野菜・山菜・工芸作物・果樹等多岐にわたる農作物に依存しておりますが、中でもトマト・シシトウ・アキマメ・葉ワサビ等の冷涼物やウド・タラ・ゼンマイ等の山菜類が主要を占めるものであり、林業は近年の壊滅的な低迷下にありますものの、高速道開通に伴う流通面での有利性を考えた国産材安定供給基地化を図ることも目下の急務であり、その活路を切り開く方策の一つでもありましょう。

観光の動向

観光レクリエーションは、近年に見られる国民生活のゆとり・趣味・自由時間の増加等によって、休養だけでなく活動的な余暇活動に深い関わりを持ってきております。

生活時間内での自由時間は、五十年代ではそれ程増えてはいませんけれども、七十年代では一日の三分の一が自由時間であり、全体的な生涯自由時間については大幅に伸びて行く傾向にあります。特に完全週休二日制の普及テンポの推移に関わるところが大きいとN・H・K国民生活時間白書が指摘しております。

総理府の調査では、国民の今後の「レジャー・余暇」生活に対する関心は、「住」生活を上回り、今後の生活の中でも最も力点が置かれることが報告されております。余暇意識については、より積極的な充実を考える人々が増えてきており、また、余暇を活動的に使おうとする人々の割合の大幅な増加が、余暇に対する意識の変化として取り上げられております。余暇の内容の変化としては〝自らのたのしみ〟を基点におく満足の仕方に移行しつつあることを認識する必要があろうかと思われます。

観光需要

観光需要の増大は、団体旅行から家族・グループ等の個人性の高い単位に次第に移行しつつあり、「見る」から「食べる」、「学ぶ」、「憩う」、「感じる」などの要素や魅力が複合化されて来たものでありますので、対応する側の私共も経済的側面を加味した質的充実への「気くばり」が望まれる状況にあります。運輸省関係の六十年観光白書によりますと

①「したい」と思う志向には根強いものがある。

②「保養・休養」のための旅行の増加。

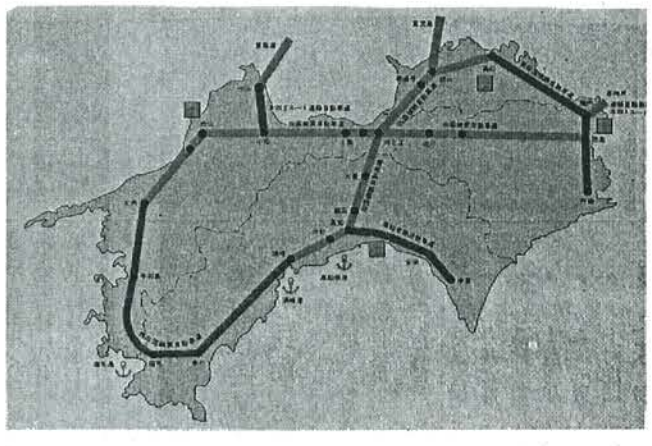
③「小人数旅行」の志向が強い。

等を特徴としており、国民一般の観光レクリエーションへの潜在的需要はかなり高いものと言えましょう。目的意識の増加が「保養・休養」にあるとは言うものの、その内容は次第に精神性の高い「満足」を求め始めているものであります。自らの「楽しみ方」を熟知している事の結果によるものと判断すべきものでしょう。

四国観光の動向としましては、四国島内からは一泊三日、近畿地方からは二泊三日のパターンが主体でありまして、その六十四％が自家用車利用の状況となっております。その内訳としては五十―六十代が四十四％を占めており、泊数が増加する程、市外地域に宿泊を求める傾向にあります。

四国中央山岳地域における大豊町の観光の将来像について考察してみますと、歴史的遺産も多く観光開発における特徴的な資源は他地域に比較しても決して劣らないだけの数多くのものが存在しておりますけれども、今後における観光開発にあたって基本的に認識して取り組まなければならない視点は、「観光レクリエーションの一般的動向を踏まえ、かつ、観光マーケティング的発想を根底に置く」ことに尽きるものでありまして、需要を促進していく観点よりも、その需要を創造していく考え方によってこそ観光開発が活かされうるものでありまして、開発における企画性やその手法が重要なことは論を待たないものであります。

四国山岳地域を貫く高速道と今後重要な役割を持つこととなる国道四三九号や主要県道川之江―大豊線を念頭に置きながら地域全体の統合、隣接地域との連係を図りながら地域特性に即した「絵を描く」こと、即ち、体系的開発構想の樹立こそが、観光面から考えた場合の地域振興を確立するための大前提でありましょう。観光開発に当たっては、良く「ルート開発」ということが言われますが、これは道路開発を意味するものではなくて、むしろ、広い意味での「流れの開発＝導線開発」とも理解して、本町の観光開発の可能性を探求して行くことが望ましいと思います。



四国の自動車ルート図

本町の観光資源

町内には様々な文化財、史蹟、名勝に恵まれておりますし、加えて町立観光センター、観光駐車場、遊歩道、展望台等々の整備が進みつつありますが、地域環境からの制約要因も多いので、地域産業との結び付きに充分な連携が取れていないきらいがあり、従いまして現時点では観光産業需要を喚起するまでには至っていないように感じられます。しかしながら、近年の〝むらおこし運動〟にも見られるように、活用方法の如何によっては、地域経済基盤を安定させ、地域振興の大きな柱の一つにもなるべきポテンシャルを秘めているとが、実証されつつあることは特筆すべきことではないでしょうか。

豊楽寺薬師堂・旧立川番所書院（立川御殿）・定福寺・民俗資料館・杉の大杉・梶ケ森その他無形の文化財・「コト」の文化財も数多く存在しております。岩原永渕の神楽・施餓鬼舟・百々手・寺内太刀踊りその他各集落毎にもそれぞれの祭り奉納等の数多くのものが、この地に「生まれ」、「根付いて」いることは枚挙にいとまがありません。これらは、時代の変遷を経て、例え細々としていても歴史的に連綿として今なお続いております。この何ものにも変え難い「価値概念そのもの」が何ものにも勝る資源でもあります。この偉大なる遺産を、このままで単なる観光振興サイドで捉えてみても、これらの活用は至難の技といわざるを得ません。＝「住民が生活している中での真の意味での心のよりどころ」＝となっている自然の姿、換言すれば＝「本当にイキイキしているサマ」＝は、かけがえのない立派な観光資源であるとも言えるのであります。

我々は、これらの史跡・文化財・名勝等を先達から承継してきた共有の贈り物とは言え、この存在は誠に大きいものがありますけれども、必ずしも従来的な観光資源として捉えてみますと、とてつもない「希少性」が見出せられるものではありませんし、これらに類似するものは全国的にも数多く存在するものであります。ここのところが大変重要なことであり、ともすればこの事が疎外視された論議が数多く見受けられております。観光に奥の深い内容を求められている今日にあっては、資源そのものよりもそれにまつわる〝モノゴト〟への関心が高まっていることから、「過去と強い脈絡を持つ様式」が地域社会の各分野に残っているものが、希少性という意味合いをも含めて、資源としての価値の高さを認識する必要があろうかと思われます。（例えば参勤交代の修復、参勤労参加ツアーや、民宿とセットで旧正月を田舎で過ごすツアー等もその一つに挙げられます。）

次号につづく

歴史的遺産の開発

大豊町PTA連合会研究会大会

研究テーマ

未来に向かってたくましく生きる子どもを育てるPTA活動をどのように進めるか

大豊町PTA連合会（会長富永勝）では、去る十一月九日、大豊中学校体育館において研究大会を開催しました。本大会の研究テーマは『未来に向かって、たくましく生きる子供を育てるPTA活動をどのように進めるか』というテーマのもと真剣な研究討議が行われました。

午前中は、高知市朝倉第二小学校を最後に三十七年間の教師生活を退職し、現在では西山市民会館で識字学級の講師として御活躍の大藤先生をお招きし『お母さんがんばって』という演題で講演。永い間の教育現場での実践を通じての講演に参加者一同深い感銘を受けた。

中でも家庭教育の中で母親の役割を主体に人間としての「しつけ」の大切さについて強く訴えていた。

母親の役割について講演する大藤先生

PTA活動功労者に富永会長より表彰状の贈呈

以下講演の要旨

○子育ては成長に従って一環性のある目標をもて。

○子供の叱り方は、ほめてくさせ。しかられて悪かったと感じるしかり方をせよ。しかった後はくどくどいわないこと。

○子供の年齢を考えたしかり方をせよ。大人の得手勝手なしかり方をするな。

○幼い子供は翌日しかるよりその場でしかれ。

○上級生になると兄弟のいる所でしからず、翌日しかれ、兄としての立場を尊重。

○子供は親の背中を見て育つ。親の行動、考え方が悪いと子供も見習う。

○親も教師も子供と一緒に成長する。四年生になると自我が目ばえる。

○出るべき所に出たら家庭のしつけがわかる。恥ずかしくないしつけをしよう。

○上級生になると父親の出番。（将来の展望は父親が）

○生活の基本は母親の責任で。物を大切にする教育をしよう。

○動物、植物を育て慈しむ心を育てよう。

○お母さんは態度で示しなさい。母親の考え方、行動は子供達は敏感に受けとめる。

○愛を感じるしつけ、教育は母親の責任である。

○母のしつけ、教育は自分の子供だけでなく他人の子供にも影響する。

○小学校で悪い芽が出ることはあっても、中学校で悪い芽の出ることは少ない。悪い芽は早く摘取る。

○健やかに、たくましく育っていくのは両親の責任。

○家庭は人間づくりの場である。

また大藤先生の講演のあとは午前中、町内各単Pにおいて積極的な活動を推進し功績のあった個人に対し富永連合会会長から表彰状が贈呈された。

表彰者は次のとおり

大杉小学校PTA宮内美代
大田口　〃　豊永正臣
豊　永　〃　小笠原和子
〃　〃　小笠原近子
東豊永　〃　三谷武昭
〃　〃　豊永美恵子
西　峰　〃　笹岡宏
大豊中学校PTA上村茂晴
西　峰　〃　笹岡孝一

研究大会の午後の部は、PTA活動の事例発表に移り西峰小学校の父兄で柚木の前田久美さんによる、「私達のPTA活動」と題して愛校活動等に対する地域活動について素晴らしい発表があり、参加者一同の盛大な拍手を受けた。

事例発表のあとには四つの分科会に分かれ助言者を交え熱心な研究討議が行われた。

全体会では、山本桂先生による名司会のもとそれぞれの分科会代表者の発表、質疑応答があり、子供を持つ親の悩みが「教育」「しつけ」の問題を通じて真剣に研究、討議された有意義な一日となった。

研究大会事例発表

私達のPTA活動

西峰小学校PTA　前田　久美

西峰地区の概況

私達の住んでおります西峰地区は、豊永から南小川を坂登って11・7㌔、標高570㍍のところに中学校があり、小中学校を中心に7部落が点在する山村です。

南は香美郡、東は徳島県と隣接しております。明治初期までは土佐と阿波の交通の要路で通行の取締りのため関所が置かれておりました。

明治30年頃までは、ほとんどが農林業で主食、雑穀のほか養蚕、たばこ、製紙原料の収入に頼っていましたが、現在では農業収入に頼ることが少なくなって、農閑期には地元の建設業に従事する家庭が多くなりました。

冷涼地園芸が盛んで、トマト、ピーマン、しいたけ、ワサビ等の出荷がおこなわれています。山菜、ゼンマイにも恵まれ一部には猪の飼育も行われております。西峰縫製や土木建設業も西峰を支える重要な産業となっております。

終戦後数百人もいた児童生徒は、今では小学校31名、中学校16名で小中学校に子供を出している家庭は28世帯、西峰の戸数も4月30日現在で211戸、人口は594人と激減しています。

典型的な過疎の山村で何をするにも、老人会を始め地域ぐるみでという良い風習は今でも受継がれている点が、よそでは見られない特徴だといえましょう。

それでは本題の私達のPTA活動にはいります。まず愛校作業は長い間小学校と中学校が併設されていたということもあって、PTAも小中学校PTAとして組織され活動して参りました。

小学校、中学校を卒業した者が地方に残り子供を同じ小学校、中学校に通学させていることもあって自分達の小学校、自分達の中学校という意識は強く、愛校精神で会員は運営されているといっても過言ではありません。

愛校作業活動

PTA創設以来、学校の草引きは最低年一回は続けており、サツキを校庭の回りに約600本植えたり、テストピースを利用してかなり広い敷地に花壇と畑を作って理科の学習や、勤労生産の学習にも役立ててもらうようにしました。

体育館にマットを敷いて、走り幅跳びをしている児童の姿を見るにつけ、砂場の設置を思い付き砂場の枠組みには青年会の植林から材木を提供してもらい作りました。

また、プールの給水に生活排水の混じった谷水を引いていたため消毒薬を多量に使っていたということもあって、子供達が大変泳ぐのを嫌いました。

そこで、新しい水源地の設置を町に要望致しましたが、予算等の都合で受入れて貰えませんでした。大変悲しいことです。

そこで、私達PTAの総力で河川敷に直径1㍍、深さ6㍍の井戸を掘り水源地を作りました。これは後で聞いた話ですが、業者の話によりますと150万円はかかる仕事だそうです。

きれいな水を給水し、プールの手入れ、コンクリートの補張をして安全に利用出来るようにもしました。水がきれいになったため、目を痛めることも無くなり利用者も多くなりました。

砂場にしても、プールにしてもPTAの会員は勿論のこと地域の人々も仕事を休んでまで協力していただき、ほとんど、地域ぐるみの出役で手作りで仕上げました。

このような協力体制が子供達に通じないはずがありません。陸上競技や水泳の記録も伸びてまいりました。お陰で町内の大会でも抜群の成績をあげることが出来るようになりました。

熱心に聴講するPTA会員

自然保護活動

次に自然保護と豊かな環境づくりですが、西峰は又自然に恵まれていることもあって、小中学校は愛鳥モデル校の指定を永年うけており巣箱づくりや、バードウォッチングなど父兄ともども行っております。

川を大切にしようということで、6年間も児童生徒はもとより、父兄も一緒になりアメゴの放流を続け、高知大農学部の指導のもと淡水魚の名前を学ぶ等、学習もしております。

嶺北漁協組合も協力して頂き、今ではマスコミでも取り上げられるようになり毎年テレビでも放映されております。

昨年は公民館が発起し、京柱峠に桜の若木を1、500本植樹するなど自然保護にも力尽くしております。また毎年手入れ、補植などを行い将来は桜の名所にしようと思っています。その折りには重箱など持ってどうぞお花見にきて下さい。

愛を育てる三世代交流活動

次に三世代交流ですが、都市部では核家族化し高齢者が疎外されがちな、昨今ですが西峰ではそのようなことがないよう意を用いております。

運動会は、保育所、小学校、中学校一緒に毎年開いております。三世代の交流を深め敬老の精神を養うため、親子の競技や高齢者と子供の競技もあり、学校と地区民が合体した内容にしております。

今年は特に小学校の児童が、高齢者の方に一人一人に案内状を出して、おおいに喜んで頂きました。飯ごう炊飯や、芋がゆパーティを小学校脇の長瀬川の河原で行いました。

敬老の精神は、このような小さな出会いの一つ一つが積重なって、日常習慣化して行くのだと強く確信したことでした。

交通安全指導活動

次に交通安全ですが、西峰は曲りくねった坂道が多い割に交通事故は少ないのですがおろそかには出来ません。通学時の交通指導も随時行っております。鹿丁、大畑井間の国道439号線の清掃を始め、空缶拾いや、カーブミラーのふき掃除も行っております。この様な地道な活動が実ったのでしょうか、私の知っている範囲では、児童生徒の交通事故は一度もありません。

また保育所では、30年間の交通安全指導が行われて来たということで、表彰を受けております。

地域体育振興活動

次に体育の振興ですが、西峰スポーツ子供会では、月二回小中学校の生徒を対象に愛媛県から講師を呼んで少林寺拳法の指導を行っております。今では全員が有級者となり年に一、二度、愛媛県と交流試合を行っております。

婦人部では、バドミントン、卓球、バレーボールを夜間行い小中学校の先生を交えて共に汗を流しております。先日は大杉での交換試合で良い成績をあげました。

先進地等への研修活動

終わりに研修旅行ですが、今年の研修旅行は保育所の落成ということもあって、山田町立の保育所を見学しました。また、将来河原を利用したフィールドアスレチック施設を作りたいと考えておりますので、野市町立の佐古小学校を視察しました。

地域に根ざしたPTA活動

以上、つたない私達のPTA活動の一端を御紹介させて頂きましたが、お聞きのとおり皆様方の様には充分な活動は出来ておりません。会員が少ないので各専門部に分かれての活動が出来ておりませんが、何をするにも地域ぐるみでという会員の意識が私達のPTA活動を支えてくれているのが何より有難く嬉しいことだと思います。

一部の人の、一部の人のためのPTA活動でないという点で、ある意味では辺地という地域に根ざしたPTA活動、全員参加の手作りのPTA活動ができているといえるのではないでしょうか、私達のPTA活動は素朴なもので充分なものではございませんが、地域ぐるみの良さを生かして未来に向かってたくましく生きる子供を育てる、PTA活動へと発展していくよう、今後ますます努力して行きたいと思います。

どうも、御静聴有難うございました。

老人ホーム大豊園を慰問

嶺北会(東京)の 小松会長、今西幹事長

嶺北地方出身の東京在住者で組織している、嶺北会の会長小松延秀（西峰出身・株式会社ハイウェイ・フレンド取締役会長）さんと、幹事長今西昭一（立川出身・大倉工事株式会社代表取締役）さんお二人は、去る九月十七日、雨の中昨年同様、慰問金を持って、嶺北特別養護老人ホームと老人ホーム大豊園（園長・都築幹夫）を訪問されました。

都築園長は東京にいても故郷のことを懐かしく思い出し、毎年こうした温かいお厚志を頂く東京嶺北会の方々に対し大豊園の職員・老人一同を代表して心から感謝しお礼を申しあげていた。

今、嶺北は過疎化と高齢化社会で厳しい時代を迎えておりますが、四国横断高速自動車道も、まもなく開通し大豊にはインターチェンジも出来、高速道時代を迎えます。

こうした現実をふまえ嶺北は一つの合言葉のもとに「むらおこし事業」等に積極的な取りくみを行っております。

東京嶺北会の皆様の御意見も頂きたく思います。

東京嶺北会の益々の発展をお祈り致します。

尚、慰問金を頂いた方の氏名は次のとおりです。

会長、幹事長（前列右端）を囲み記念撮影

都築園長に慰問金の贈呈をする小松会長（右端）

老人ホーム慰問賛同者名簿

〒

100 山原健二郎
100 平石磨作太郎
248 吉永多賀誠
270-11 小笠原博幸
173 藤田達雄
177 今西昭一
206 上村大士
160 畠山権治
157 西村誠吉
107 中西久子
413-02 沢田千鶴子
101 鈴木和彦
156 原広中
166 高橋功
160 中西惇
228 西村弘
144 久保勝
115 笹岡常晴
173 笹岡英孝
160 秋山秀範
173 田中安也子
274 谷極子
170 高橋朗江
152 松本すみえ
154 武田とし子
107 中島良子
182 小松延秀

第十六回嶺北総合美術展

特選に朝比奈(絵画)門田(工芸)両氏

褒状八、推薦二、入選三七

恒例となっている嶺北地方の芸術の祭典、第十六回嶺北総合美術展が十一月八日～十二月十日まで嶺北各町村で行われました。

各町村に集められた作品は慎重な管理のもと十一月二十九日に本年の当番である本川村公民館に作品二百五十六点が搬入されました。

本川村では各町村の関係職員が立会のもと次の先生方により十一月三十日慎重に審査が行われ百四十三点が入賞され、本川村を皮切りに嶺北各町村会場において巡回展示が行われ一般に公開されました。

大豊町では十二月六日から十二月十日まで、農工センター文化ホールで展示され多くの町民が力作を観賞した。

審査員

絵画（洋画・日本画）筒井広道

彫塑工芸　加藤寛

書道　中平秋鶴

写真　高芝晴喜

町内入選者

○絵画

（特選）朝比奈富美男

（褒状）山本桂

（入選）西岡里志・浜田豊高・朝比奈富美男・永野愛子・小笠原礼二点・原主幸・大上ハツ子・小松文江・杉本志津子・上村紀夫

○彫塑・工芸

（特選）門田勝喜

（褒状）岡林千代恵・西岡富美子

（入選）富山行盛・門田勝喜二点・三谷晴喜・上地健男・坂本みさ子二点・岡林延子二点・岡林千代恵・西岡富美子・楠島富士子

（推薦）釣井義光

○書道

（褒状）飯田和子

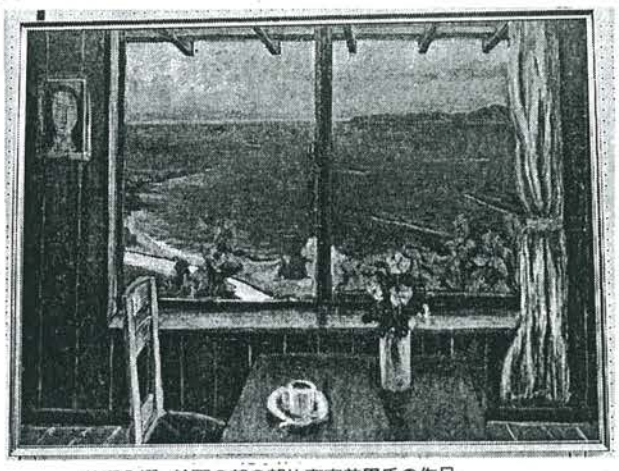
（入選）小川みや・西村浩一・西村佳子・秋山和子・石原延・三谷和子

○写真

（褒状）原幸子・岡本淳・朝比奈富美男・橋本浩一

（入選）原幸子二点・永沢悦穂・三谷雄一・朝比奈富美男・秋山勝重二点・河野大仁・中西世見子

（推薦）松浦延和

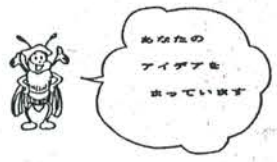


特選入選　絵画の部の朝比奈富美男氏の作品

特選入選　彫塑・工芸の部の門田勝喜氏の作品

繭のアイデア作品(民芸品)募集についてお知らせ

応募者全員に記念品（贈呈）



町では、養蚕業の振興と地場産業の育成を図るため本町の特産物である「繭」を材料とした「民芸品」を作り、商品化しようと次の要領で、住民のアイデアを募集しております。

〝ふるって応募下さい〟

募集方法

繭は希望者に一人当り十個町企画振興室で配布します。

応募作品

（作品に使する繭の個数）三個から十個までとする。

（作品の規格）繭に紙、布等で装飾してもよいが、作品の出来上がりは、二十㌢角以内とする。

（出品展数）一人当り二点まで出品してよいが、必ず住所、氏名、年齢、職業を記入して下さい。

募集開始　六十一年十二月一日

募集締め切り　六十二年一月十日

応募作品提出先　大豊町役場企画振興室

審査賞

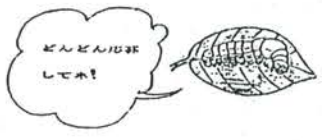
最優秀賞一点　優秀賞二点　優良賞三点　努力賞四点

入選作品発表　六十二年二月一日

応募記念品　応募者全員に記念品を贈呈

入選作品の取扱

創意、アイデア、着想などに特に優れたものは関係者の協力を得て試作製品化を行い、商品化を目指す。



領収書や契約書と印紙税

不貼りや不足は三倍の過怠税

領収書や契約書と印紙税

私たちは日常の生活の中で、いろいろな文書を作成したり、もらったりします。この文書の中には、領収書や借用証書、不動産売買契約書などのように印紙税がかかるものがあります。

印紙税がかかる文書など

印紙税がかかる文書には、領収書や借用証書、不動産売買契約書のほかに、手形、商品券、株券、預金証書、地代・家賃通帳、判取帳、委任状などいろいろなものがあり、二十五種類に分類されています。

間違いやすい例

一、請求書やお買上票などに、「代済」、「相済」、「了」などと書いたものは、受取書としての印紙税がかかります。また、レシートも受取書になります。

二、後で正式な領収書を発行することになっている仮領収書でも、受取書としての収入印紙をはらなければなりません。

三、二つの契約について、契約書を何通も作成する場合には、その全部に収入印紙をはらなくてはなりません。しかし、ただ単に契約書を複写機でコピーしたものには印紙税はかかりません。

四、覚書、念書、差入書のように、契約の成立等を証明するために作られる文書は、印紙税法上の契約書に含まれますから、その内容によっては収入印紙をはらなければなりません。

五、金銭などの受取書であっても、記載されている金額が三万円未満のものや営業に関係ないものには、印紙税はかかりません。

印紙税を納めなかったとき

収入印紙をはらなければならない文書に収入印紙をはらなかったときや、たとえ収入印紙をはっていても納めるべき印紙税の額よりも少ない額の印紙しかはってないときは、納めなかった印紙税額の三倍に相当する額の過怠税がかかります。

家族で話し合う 図解 交通安全・バイク編

カーブで急のつく動作は厳禁

最近二輪車の事故が増えています。特にカーブでの事故が多く、曲がり切れずに反対車線に飛び出したり、ガードレールに激突するライダーが目立ちます。

これらの事故は、カーブで発生する遠心力を無視したり、ハンドルに頼りすぎると起こります。バイクはバランスをとって走る乗り物。それを無理に急ハンドルで曲がろうとすると、遠心力とのつり合いがとれずバランスを崩してスリップし、最悪の場合は転倒します。

カーブ内では急ハンドルはもとより、**急ブレーキ、急加速**も厳禁!! これらの動作もバランスを崩す原因になるからです。カーブに入る手前では、十分にスピードを落とし、ハンドルだけに頼らず、曲がろうとする側に車体を傾け、自然に前輪の方向を変えながら安全に走りましょう。

「ふるさと文化教室」開く

大杉中体育館に300人が集う

文化セミナー　ふるさとの先人　埋蔵文化財について

西畑人形やふるさとこばなし

高知県教育委員会と大豊町教育委員会が主催する「ふるさと文化教室」が去る十月十三日、大杉中学校体育館で盛大に開催された。

当日は丁度フェスティバル大豊の翌日でもあり一般の参加が心配されたが、町内の小中学校児童、生徒や老人クラブ、婦人会、大杉校下の方々約三百人の出席があった。

この「ふるさと文化教室」は、毎年県下を西部・中央・東部の三つの会場に分けて開催されており、本年は中央会場として本町の当番となった。

この教室の趣旨としては近年社会的・経済的諸条件はめまぐるしく変化をしてきている。たとえば所得の向上や余暇の増大を背景とし、人々の意識や価値観は、これまでの経済中心から生活全般に文化を基調とした「うるおい」と「やすらぎ」を求めて精神面での質的な充実をはかる方向へと転換をみせてきている。

この「文化の時代」に対応して新たな視点に立った文化振興のあり方を探求し、青少年をふくめた県民総ぐるみで生活文化の領域を含め幅広い県民文化の推進高揚をはかることを目的として開催された。

午前中は開会行事のあと一般を対象に約五十人が集まり文化セミナーが行われた。

講話は「ふるさとの先人」と題し、郷土史家で大豊町社会教育委員長の石原正恒氏による『大豊町内の文化財を中心に先人達の残した偉大な遺跡を見る時、私達の祖先は大変優れた人達であった。

これを受けつぐ私達は、誇りをもって維持し後世に引継がなければならない』と話されたほか、近代に入ってからの郷土で育った先人の中から、山下奉文大将と作文教室で全国的に有名（小砂丘賞）な津家出身の小砂丘忠義先生にスポットを当てたお話は聴衆を感銘させた。

又、この後、県の文化振興課の方からは、埋蔵文化財について、スライドを利用して、田村遺跡の発掘状況や岡豊遺跡、西部地区の貝塚発掘について説明があり、先人の生活を知り現代生活の糧とする大切さを説明した。

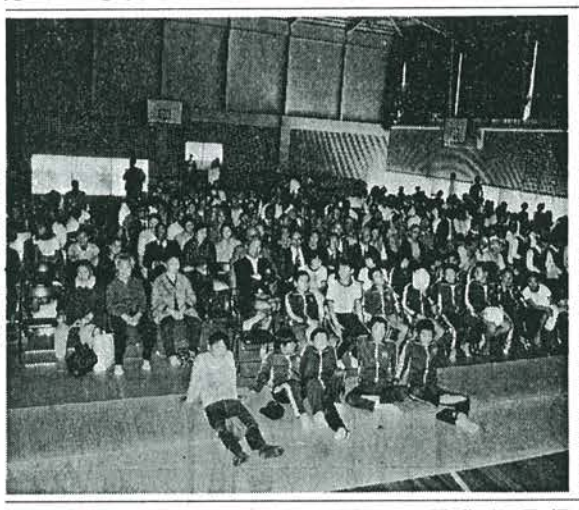
嶺北吉野川流域にも多くの遺跡があるので今後は積極的に調査を進めたいと語っていた。

午後には小中学校の児童生徒も加わり、「かかし座」による昔懐かしい西畑の人形芝居（デコ芝居）が上演された。この人形芝居は昭和四十九年に東京の国立劇場で全国に紹介され有名であり、県内でも珍しい郷土芸能の一つである。

演題は「八百屋お七」と「岩見重太郎の蛇退治」二題で浄瑠璃による上演で低学年には難解なところもあったようであるが、「かかし座」の人達の巧みな人形扱いに感心し、ユーモラスな人形の顔や動きに見入っていた。

又、司亭升楽氏のふるさとのこばなしもいつもの名調子で子供達も一緒になって笑いころげ、和やかなうちにも「ふるさと」を見直すよい機会でもあった。

西畑人形岩見重太郎の蛇退治


西畑人形に見入る観客

大豊町選手団　町長を先頭に堂々の入場行進

ソフトボール　準優勝　一般男子
三　位　青年男子
第24回県民体育大会

九月二十八日、第二十四回県民体育体会が開催され、高知市内十六会場で十三種目に熱戦がくりひろげられた。

大豊町からは、ソフトボールの二チーム（一般、青年）一般女子バレーボール、ゲートボール、バドミントン、陸上の五種目に総勢七十二人が参加、それぞれの会場で健闘した。

昨年優勝を果たして期待された、ソフトボール一般男子は四試合順調に勝ち進んだが、優勝戦で安芸穴内チームと対戦し、三対〇で惜敗。

青年男子も三試合を勝ち進み準決勝戦で安芸チームに四対二でこれまた惜敗したが堂々三位にくい込んだ。

また、この日高知市営陸上競技場で行われた開会式では渡辺町長を団長とし野島体育会長を先頭に大豊町旗のもと全員そろいのユニホームと、白い帽子をかぶり堂々の入場行進を行い、中内知事をはじめ関係者、スタンドから盛んな拍手を受けた。

なお、陸上競技では黒石の西内竹彦君が五、〇〇〇メートルで健闘優勝した。

大豊町青年教室　大川村青年団と交換会

大川村自然教育センター白滝

勤労青年を対象とし、実際生活に必要な知識・技能あるいは一般的教養の向上を図ることを目的として、大豊町中央公民館が行っている青年教室（学級長松岡利安）では、去る九月十四、十五日、大川村白滝自然教育センターにおいて、大川村青年団と一泊交換会をもちました。交換会には、大豊町から十二名、大川村から十五名の青年男女が出席、なごやかな交換会が開催されました。

交換会に出席した方達は皆、勤労青年であり夜間の交換会となり、午後五時からオリエンテーリングの後、大川村青年団との合同研修会に移りました。

合同研修会では、研修テーマを『おらが村のむらおこし』ということで「よみがえる過疎の村」大分県の一村一品運動などを紹介したビデオ学習を行ったのち、大川村青年団を交え三班に分かれ真剣な学習会が行われました。

学習会の発表では、大豊町は山ばかりであまりにも広すぎまとまりがないように見えるが、先人の築いた文化財、美しい景観等も他市町村に比べ多いと思う。

こうした観光資源を最大限に活用した観光開発（観光産業）を真剣に考えなくてはならない。

そして私達の働く場は私達の手でつくりだす勇気をもって「むらおこし」に取りくむ必要がある。

そのためには、大豊のことをもう少し勉強することが必要である。

今回の学習を通じて感じたことは「むらおこし一村一品運動」は最終的には「人づくり」である。

大分県の大山町にも視察研修もして見たい。

大川村青年団の「むらおこし」の話も聞きながら有意義な研修会となりました。

青年教室では、本年の四月九日に開校式を行って以来、プログラムにしたがって学習活動を熱心に行っております。只今、教室生は二十七名です。貴男も貴女も出席してみませんか。

お問い合わせは教育委員会社会教育班今井までTEL・七二―〇〇九四。

大川村青年団と熱心に語り合う青年たち

昭和61年度青年教室プログラム

月日	曜日	内容	時間	月日	曜日	内容	時間
4/9	水	開校式、観桜会	PM7:00～9:00	11/3	火	野外活動	AM9:00～
4/23	水	スポーツ大会	PM7:00～9:00	11/12	水	スポーツ大会	PM7:00～9:00
5/7	水	講演	PM7:00～9:00	11/25	水	映画鑑賞	PM7:00～9:00
5/21	水	映画鑑賞	PM7:00～9:00	12/21	日	料理研修	
6/4	水	創作活動①	PM7:00～9:00	12/24	水	Xマス会	
6/18	水	創作活動②	PM7:00～9:00	1/7	水	書きぞめ会	PM7:00～9:00
7/12 13	月火	野外活動		1/21	水	打ち合せ会	
9/3	水	創作活動③	PM7:00～9:00	2/4	水	講演	PM7:00～9:00
9/14 15	日月	一泊研修(大川村)		2/18	水	新年度事業立案	PM7:00～9:00
9/17	水	講演	PM7:00～9:00	3/4	水	新年度事業表作成	PM7:00～9:00
10/1	水	打ち合せ会	PM7:00～9:00	3/18	水	閉校式	

やめさせよう

シンナー・接着剤・覚せい剤など

⊙乱用は廃人への特急券

シンナーや接着剤などのガスを吸っていると、成長が止まったり、精神異常や大脳が萎縮するなどの作用があり、時には死にいたることもあります。

また、乱用中暖をとろうとしたり、煙草を吸おうとしたりして、火災になった事例も発生しています。

⊙みんなで注意しよう

乱用を防止するため、皆様の御協力をお願いします。

〇家庭では

日頃から子供の態度、行動、持物、友人関係に十分注意してください。

〇販売店では

未成年者には、保護者の確認をとって販売するようにしてください。

また、乱用の恐れがある場合は、販売しないようにしてください。

〇職場では

盗難防止のため、使用前、使用後の保管・管理を徹底してください。

覚せい剤

⊙たった一度が身の破滅

打つな打たすな　はじめの一本

暴力団は、覚せい剤の密売を最大の資金源としているため、悪質・巧妙な手段によって・覚せい剤を売りつけようとします。

覚せい剤の密売人は、一般人と同じ格好をして、時にはより親切な態度を装い

「この薬は疲れによく効く」

「無理なくやせ、スマートになる」

などと、好気心をあおるようにして、近づいてきます。

⊙乱用すると

覚せい剤を乱用しはじめると、まもなく精神分裂病に以た症状が現れます。

症状で一番多いのが、幻覚・妄想を伴うものです。

これには、

〇誰かが自分のうわさをしている

〇誰かにつけねらわれている

〇誰かにいつも監視されている

〇誰かに追いかけられている

〇誰かが妻と浮気をしている

などがあります。

⊙悲惨な事件が発生

このような幻覚や妄想が起き出すと、自分を守るため、無関係の人を巻き込んだ、事件を引き起こします。

県内でも、次のような凶悪事件が、発生しています。

〇女子高校生の情婦を連れ、県外の暴力団幹部のもとから逃れてホテルに投宿中、覚せい剤乱用による追跡妄想からホテルの客室にたてこもり、飛び降り自殺さわぎを起こした。（中村市）

〇覚せい剤常用のため、内妻が浮気しているとの嫉妬妄想を抱き、いきなり包丁で突き刺し、死亡させた。（高知市）

⊙ご相談は

覚せい剤の乱用でお困りの方は、お気軽に最寄りの保健所か警察署、または県庁薬務課に御相談ください。

覚せい剤　うつなうたすなはじめの一本！

薬物乱用防止推進員のご紹介

私たちの町では、次の方が薬物乱用防止の推進に活躍されています。

シンナー・ボンド・覚せい剤などの乱用でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

氏名	住所	電話番号
小笠原　泰伸伸	長岡郡大豊町立川口名13	0887－78－0238
宮内　正男	長岡郡大豊町葛原552	0887－72－0742
高橋　康彦	長岡郡大豊町大滝498	0887－74－0214

消費生活相談員だより

ご存じですか クーリング・オフ制度

大利 愛さん

クーリング・オフとは「頭を冷やす」という意味です。訪問販売では、セールスマンの巧みな話に左右されてうっかり商品の購入契約等をしてしまうことがあります。

このため消費者に本当に必要な契約かどうかを考える期間を認め、この期間であれば書面で通知することにより、無条件で契約の解除（又は契約の申し込みの撤回）をすることができる。

と定めたのがこの制度です。

申し込みを撤回したり解約したい時にはその期間（契約をした日を含めて七日）に書面（書き留郵便か内容証明郵便が確実）で相手にその旨を通知をすればよいのです。

但し例外もあります。代金を全額支払って商品を受け取ってしまった場合と、化粧品等使用してしまった商品だけは適用されません。

解約通知（内容証明郵便の出し方）

一、書式について

1用紙は三部複写（文具店で市販のものが便利）

2一枚に二十字二十六行以内

3文中訂正はその字の上に二本の線を引き押印する。そして上段余白に何字訂正（削除。加入）と書き押印する。

4印は認印でよい。

二、集配業務を行っている普通局で受けつけてくれる。

小さな特定郵便局ではだせない所もありますので確かめましょう。

ふるさと宅急便始まる

年4回　発送の予定

親戚や知人にどうぞ

ふるさと宅急便のパンフレット

おおとよおらんく親戚便は、町内でとれる、特産品や季節の味わいを詰め合わせ、お届けするものです。昨年末には、第一便を発送いたしました。これからも年四回程度発送する予定ですので、遠方の親戚、知人の方へふるさとのかおりをお送りの際は是非、この宅配便を御利用ください。

くわしくは、実行委員会事務局（大豊町商工会）まで御連絡下さい。

TEL七二―〇一二八

消費者保護基本法

行政・業者・消費者の役割

昭和四十三年五月に制定

わたしたちのくらしを守りさらによくするためにこの法律が制定され行政・業者・消費者・各々のしなければならない役割がきめられています。

○行政のつとめ
○安全の確保
○適正な計量、規格の表示
○価格の公正化
○消費者教育の推進
○意見の反映
○苦情処理体制の整備
○苦情処理体制の整備業者のつとめ
○商品及び役務の提供（品質や内容の向上）
○消費者保護施策に協力
○苦情処理体制の整備
○資源の適正な利用

消費者のつとめ

○くらしの計画をたてる
○品質表示を確める
○新しい知識・正しい情報を学ぶ
○疑問や意見を申し出る
○組織づくりにつとめる

私達は豊かなくらしのために消費者のつとめと権利を常に自覚し生活の向上をめざして努力を続けましょう。

消費者四つの権利

○安全である権利
提供される商品やサービスが消費者にとって安全であること
○選択できる権利
自由で公正な競争のもとで商品やサービスを十分選択できること
○知らされる権利
商品やサービスについて正しい情報や知識が得られること
○意見が反映される権利
消費者の意見、要望を正しく行政や業界にきいてもらうこと

特集 悪徳商法にひっかからないために

悪徳セールスマンの〝うまい話〟には〝毒〟がある

被害にあわないための十か条

悪徳セールスマンの〝標的〟は、商取引や資産形成に不慣れなお年寄りや主婦、若年層です。〝うまい話〟で近づき、巧みなセールス・トークや強引な態度で契約をさせる〝悪徳商法〟――セールスマンの〝毒牙〟にかからないための防衛策を考えてみましょう。

1 何の用？ しっかり聞こう 身分と用件

悪徳業者は、身分を偽ったり販売の意図を隠して消費者に近づいてきます。不審に思ったことはどんどん聞いて、どんな用件かを確かめましょう。

2 おかしいと思ったときは ドア開けず

悪徳業者は、ドアを開けさせて家の中に入り込むことが最大の関心であり、一たん家の中に入り込むと何時間でもしつこく勧誘します。おかしいと思ったときはうかつにドアを開けないようにしましょう。

3 もうかります そんな言葉に ご用心

この世に〝うまい話〟はありません。うますぎる話はおかしいと疑ってかかってください。

4 あやしいぞ 人のフトコロ聞く業者

悪徳業者は、あなたの財産を根こそぎ奪ってしまおうとしています。預金高や財産のことを聞かれても、しゃべらないでください。また、印鑑や貯金通帳を渡すのは絶対禁物。

5 勇気出し はっきり言おう いりません

中途半端な態度ではつけこまれます。毅然とした態度で断りましょう。

6 しつこいな そんな相手は 一一〇番

しつこさに負けて契約するケースも多いようです。あまりしつこいときなどは一一〇番しましょう。

7 迷ったら 一人で悩まず まず相談

セールスマンの口車にのって契約するのは後悔のもと。迷ったら自分で即断せず第三者の意見を聞くことが大切です。

8 サインして あとでしまった もう遅い

契約書に書いてあることと、セールスマンが言ったことがまったく違っていた――こんなこともよくあります。サインする場合は、よく契約書を読んでからしましょう。

9 契約は してもお金は 後払い

契約と同時に代金を全額払ってしまうと、後で解約できなくなることがあります。支払いは、冷静に考える期間をおいてからにしましょう。

10 あなたです！ 自分の財産 守るのは

悪徳業者は、だましのテクニックを駆使してあなたの心のスキを狙ってきます。迷ったり、優柔不断な態度は禁物です。賢い消費者としての知識を身につけ、大切な財産をあなた自身で守りましょう。

特種販売とは

消費者自ら店頭に行き、商品を手に取って調べたうえ購入するのが普通の販売契約の方法です。しかし、近年セールスマンが家庭や職場等を訪問して商品やカタログなどを見せて説明し、購入の申し込みを受けたり商品をその場で売ったりする訪問販売などが発生してきました。このような店頭販売以外の取引き方法が特種販売と呼ばれています。

○通信販売
○訪問販売
○マルチ商法（連鎖販売取引）
○SF商法（催眠商法）
○ネガティブオプション（押しつけ販売）

大別すると

等があげられトラブルの多くはこれらの取引によっておこっています。お互いに気をつきましょう。

やまびこ

句会 作品抄

火葬場に煙がなくて雁渡る　三谷 幸正
まろやかに茶の花ひらき赤子の手　秋山 良恵
期限切れのパスポート焼く街は秋　岡林 由佳
雁渡る 眼を閉じてみる死後の山　秋山 成子
紅葉山夕日が染めて牛帰る　鎌倉喜美衛
永平寺 童子が仰ぐ紅葉空　刈谷小武志
シャム猫の目の澄み十一月終る　吉川 邦子
またたいて烏賊釣り船の灯に 旅愁　松浦 美恵
蕎麦量る 祖母の手あかの一升桝　杉本 賀美
涸川のささ波 亡祖母の息ほどの　徳弘 妙子
手のひらに賽の目豆腐 秋時雨　長野 稔恵
真二つに白菜割られ 夕日受く　猪野 義晴
きもの展妻に着せたき辻ケ花　長田 惣生
油絵のような波止場にカモメ飛ぶ　猪野 博文
懺悔台 坐れと 蜜柑一個の黄　森 武司

〝心のスキ〟が狙われます

▶年末の犯罪に遭わないために◀

「今年中にこれだけは済ませておきたい」「△△の料金は今年中に支払わなければ…」

年の瀬は、これもしなければ、あれもしなければと、なにかとあわただしくなります。忙しさでつい家のカギを掛け忘れたり、大切なものを置き忘れるなど、ちょっとした〝心のスキ〟ができやすいこの時期は、空き巣やスリにとって絶好の稼ぎ時です。

ドロボーは、あなたのちょっとした気のゆるみを狙っています。年末に空き巣やスリなどの被害に遭わないために、次のことに注意してください。

①外出するときは、たとえわずかな時間でもカギを掛ける。また、隣近所に一声かけて留守を頼むことも忘れずに。

②多額の現金は、なるべく手元に置かないように。通帳と印鑑は別々に保管を。

③混雑する場所へ行くときは、必要以上の現金を持ち歩かない。

④大金を持ち歩くときは、複数で行動するなど細心の注意を払う。

⑤車や自転車を駐車するときは、必ずカギを掛けるように。車の中には現金など大切なものを置かない。

編集後記

初冬の候となりました。師走の風と共に今年も全国各地で歳末たすけあい運動が展開されております。

皆さんの温かいお心に期待します。

町民体育祭、フェスティバル大豊、嶺北総合美術展、など秋の大きなイベントも無事に終りお世話になりました。今は係一同、来春の成人式の準備に鋭意取り組んでおります。

「光陰矢の如し」とか本年もあっという間に年の瀬がやってきたと思うのは私だけでしょうか？

往く年を惜しみ、来る年にあつい思いを託し、残り少ない本年を有意義にしめくくりたいと思います。

町民の皆様ご一家が健康で明るいお正月をお迎えになりますよう心からお祈りいたします。

山崎 博資